



サイボウズ災害対策チームのメンバーで自らも自宅全壊の被害を受けた野水様Facebook投稿より。



野水 亮也さんは生田 智之さん、他3人と一緒です。

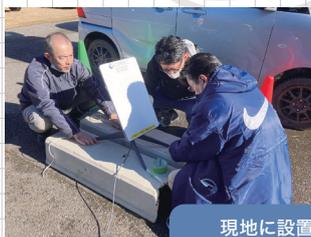
1月12日 14:17

昨日はまだ通信状況がほとんど回復していない。輪島市の門前黒島地区の黒島公民館にスターリンクを設置しに行ってきました。

「おお！アンテナが動く！」

「わあ、繋がった！」

とか、機器そのものにも興味津々という感じで、避難所のみなさんが設置や養生などをお手伝いくださいました。...さらに表示



現地に設置された「スターリンクアンテナ」



貸し出し用「スターリンク」を設定するITサポート部

能登地震とBCP対策への取り組み

皆様、こんにちは。コムデックの社長の生田です。

1月1日のお正月という、まさかのタイミングで起こった能登地震は、私たちにとって多くの教訓を残しました。自然災害の予測不可能性と、その影響に迅速かつ効果的に対応するための準備の重要性が、再び強調されることに成ったのです。このたびの災害に際して、コムデックはサイボウズ社の災害対策チームと協力し、被災地の通信インフラ復旧のために衛星インターネット装置「StarLink」のアンテナキット3基を提供しました。

この取り組みは、当社のITサポート部が精力的に準備を行い、現地での設置作業も支援させていただきました。稼働中の装置から送られてきた写真を見た時、その光景は私たちにとって大きな喜びとなりました。また、現在もITソリューション部の佐田さんを中心に、災害支援に利用されている「kintone」アプリの構築に協力を続けています。

私がなぜこれほどまでにBCP(事業継続計画)対策に注力するのか、その理由は個人的な経験にあります。東日本大震災を、樋口会長と共に東京のビックサイトの展示会訪問中に経験しました。その時、私たちは通信手段の確保に苦勞し、その経験からBCP対策の重要性を痛感しました。特に、当時はまだLINEが普及する直前で、効果的な通信手段の不足が深刻でした。

その経験以来、コムデックは継続的にBCP対策に取り組んできました。そして今回、被災地支援において、その取り組みが役立ったことを嬉しく思います。コムデックは今後も、必要な支援を提供し続けることを約束します。私たちの技術と知識が、人々の生活を守り、ビジネスの継続を支援するために役立つことを切に願っています。



代表取締役社長
生田 智之



IT活用戦略セミナー2024開催告知ページ





今年の6月に開催を予定しているIT活用戦略セミナー。基調講演の特別講師がデービッド・アトキンソン氏であることは1月のImadokiにて速報でお伝えいたしました。アトキンソン氏は、日本文化への深い見識と理解から日本政府内閣官房「成長戦略会議」等のメンバーとしても知られ、多くの著書やメディア出演を通じてその見識と洞察力を広く発信しておられます。今回のImadokiは、6月のセミナー開催に向けて皆様にもっとアトキンソン氏を知っていただくという特集企画です。

IT活用戦略セミナー2024
については
こちらのページで特集！
PVも是非ご覧ください

『日本人の勝算』、『日本企業の勝算』、『給料の上げ方』など多数の著書を出版されているアトキンソン氏は、その肩書もバラエティ豊かです。小西美術工藝社社長、京都国際観光大使、二条城特別顧問、内閣官房 成長戦略会議 有識者、観光戦略実行推進タスクフォース 有識者、等々……初めて聞くものも多いかと思いますが、いったい何をどうやったら元ゴールドマン・サックスの経済アナリストが国宝などの修復事業の会社の社長になり、京都の観光大使に行きつのか、気になりませんか？
そこで今回は、アトキンソン氏のこれまでの経歴を深掘りしちゃいます！

経済アナリストが茶道家に!?
経営も文化財も修復

まずは簡単に、アトキンソン氏のこれまでの経歴をご紹介します！誰でも知っているような有名企業のアナリストから、突然の茶道家への転身、そして国宝の修復へ……と、その経歴は我々の目には異色に映ります。しかし、1990年頃に日本に拠点を移して以来30年以上在住するアトキンソン氏は、その著書の中で『17歳の時に、この日本と言う国と運命を共にすることを決意した』と語り、それらの行動は『大好きな日本を何とかしたい』という想いが根底にあるのです。

1965	イギリスに産まれる オックスフォード大学で「日本学」を学び、修士号を取得 大学卒業後、アンダーセン・コンサルティング(アクセンチュアの前身)に入社	アクセンチュアとは？ 世界最大級の経営コンサルティング企業。様々な分野・産業に対し戦略、業務、IT、デジタル広告などのあらゆるコンサルティングを提供しています。	2015	新・観光立国論 出版	新・観光立国論
1990	渡日 ソロモン・ブラザーズの東京に拠点を置く銀行アナリストとして勤務		2016	新・所得倍増論 出版	新・所得倍増論
1992	ゴールドマン・サックスに移ってアナリストとして活動を開始	バブル崩壊後の銀行の不良債権問題を指摘。不良債権の早期処理と金融システムの改革の必要性を強く訴え、大きな話題となりました。	2017	一般社団法人社寺建造物美術保存技術協会を技能者の育成を基軸とした体制に再編 日本政府観光局の特別顧問に就任 世界一訪りたい日本のつくりかた 出版	世界一訪りたい日本のつくりかた
2006	ゴールドマン・サックスの共同出資者に選出される		2018	新・生産性立国論 出版	新・生産性立国論
2007	共同出資者就任日に辞職 この時42歳 アナリストを引退後、京都の町家を買取り1年かけて改装茶道に打ち込み、裏千家茶名「宗真(そうしん)」を拝受	電撃辞職！	2019	日本人の勝算 出版	日本人の勝算
2009	軽井沢の別荘の近所だったという縁から、日本の国宝などの修復を行う小西美術工藝社に入社、翌年には会長に就任		2020	菅政権の成長戦略会議の議員に起用 日本企業の勝算 出版	日本企業の勝算
2011	小西美術工藝社の社長兼務となり、高給職人に対する賃金カットや若年職人の正規雇用化、教育制度の整備等、経営の近代化と建て直しを図る		2022	人材育成と業界の透明性向上のために研修制度を改めて部門別のカリキュラムを作成し職人の技能レベルに応じた4段階の技能者認定制度の本格的な運用を開始	

小西美術工藝社とは？「青い目のサムライ」が率いる職人集団



アトキンソン氏が社長を務める小西美術工藝社は、江戸時代から続く老舗の職人集団です。各地の著名な社寺・建造物の施工実績数で全国第一位の実績を誇り、『日光東照宮の国宝『陽明門』の修復も手掛けています。しかし、かつての小西美術工藝社は、伝統の名の下に昔気質の経営が続き、どんぶり勘定で運営されていたため倒産の危機に瀕していました。経費精算が行わないため仕事が終わってから赤字が判明することもあり、職人の高齢化に伴う後継者不足や品質低下によるトラブルも発生していたのです。

このような状況を打開すべく、アトキンソン氏が社長として経営の舵を取り、大胆な改革を実施しました。具体的には、高齢・高給の職人に対する賃金カットと若年職人の正規雇用化、体系的な教育の導入により後継者不足の課題を解消しています。さらに、進捗状況管理を感覚ではなく週次で追えるようにシステム化したり、資材も安い時にまとめて購入するようにしたり、業務全体の改革を進めました。これらの改革の結果、現在では平均年齢38.4歳という若返った組織体となり、50名以上の技術者を正規雇用するなど、小西美術工藝社は新たな時代へと歩みを進めています。「国宝を修復している伝統と職人の会社」と言われると「うちと違って業態が特殊だから……」と思ってしまうかもしれませんが、実際に小西美術工藝社でアトキンソン氏が推し進めた改革は他の中小企業にも通じる部分がほとんど。「職人の世界は美化されることが多いが、非常識なことをやめただけ」と2015年に出演したカンブリア宮殿でも話されています。

小西美術工藝社が修復した文化財



日光東照宮の陽明門

その他修復工事を行った文化財

- 春日大社
- 平安神宮
- 伏見稲荷大社
- など、全国400件以上



文化財と観光戦略で日本のGDPを回復!? 日本の生産性が低いのは中小企業が原因?

いち企業の社長として文化財の保護や修復に力を入れる一方で、アトキンソン氏は日本経済、とりわけ観光施策や中小企業についてはかなり厳しい意見も述べています。例えば、日本の文化財修復予算やGDPに占める観光産業の割合は諸外国と比べてときにより低く、まだまだ日本の観光産業は伸びしろがあると言えます。また、「日本には中小企業が多すぎる、中小企業が生産性を下げる要因になっている」とも話しており、人口減少と高齢化が進む中で中小企業は規模拡大を積極的にしていくべきと主張しています。IT活用戦略セミナーでは、中小企業がこの先どうしていくべきかを中心にお話しいただく予定です！

来月以降のImadokiでは、アトキンソン氏の著書の中から
特に皆様にもご覧いただきたいものを紹介予定となっておりますので楽しみに！

経営者様向け情報 大工の正やんにみるファンビジネス

私たちがビジネスを行う上で、顧客との関係性は非常に重要です。今回は、一見するとビジネスとは異なる分野かもしれないが、顧客との深い結びつきを作り出す上で参考になる例として、YouTubeで活躍する「大工の正やん」を紹介します。

「大工の正やん」は、その朴訥とした話し方と誠実なイメージで大人気となり、200万回再生を超える動画も数多くあります。現代では、人の不幸に付け込むようなネタで再生回数を稼ぐYouTuberも少なくありませんが、自身の技術と人柄で多くのファンを獲得している正やんが私も大好きです。

「まな板」も予約しないと買えない人気となっています！



企業は自社の製品やサービスを通じて、顧客にとって忘れがたい体験を提供し、ファンを増やしていく必要があります。そのためには、製品の質だけでなく、その背後にあるストーリーや価値観を大切にすることが求められます。「大工の正やん」のように、誠実さと熱意を持って顧客と向き合い、彼らの心を掴むビジネスを展開していきたいと思いませんか？

彼の人気の一つは、オンラインショップ【https://shoyan.shop/】で販売されている「正やん」が手作りで「まな板」です。単にYouTube上での活動だけでなく、ファンが彼の作品を手に取り、日常生活の中で使用することができる...よくできた推しの仕組みになってました(笑)

200万再生を超える動画多数！是非ご覧ください。

人気の動画 ▶ すべて再生

完成

第40年リフォーム やっと！

33:47

【総集編】大工が40年前に建てた自分家をリフォームし...

285万 回視聴・8 か月前

ネジ山

無い意味とは？

3:22

【大工の豆知識】ビスのネジ山の無い部分の意味とは？...

273万 回視聴・3 年前



Gmailのセキュリティ強化によって、多くの企業様で対策が必要となっています!!

2024年より、Gmailのセキュリティが一層強化され、SPFレコードやDMARCといった対策を施していないメールサーバーからのメールをブロックする新たなルールが導入されます。

この変更は、フィッシング詐欺やスパムメールを減少させることを目的としていますが、多くの企業にとっては直ちに対応が必要な課題をもたらすこととなります。

Gmailのセキュリティ強化によって生じる問題

① メール配信の失敗

SPFやDMARCを設定していない企業は、Gmailユーザーへのメールがブロックされ、重要なメールが届かなくなる可能性があります。

② 信頼性の低下

メールがブロックされることで、お客様や採用予定者からの信頼を失う恐れがあります。

補足)ECサイトの購入者や採用予定者など個人でGmailを使っているケースが数多くありますので、全ての企業様で問題が発生すると予想されます。

企業がとるべき対策

① SPFレコードの設定

SPF (Sender Policy Framework) レコードは、御社のドメインから送信されたメールが正当であることを証明するものです。ドメインのDNS設定にSPFレコードを追加することで、メールの正当性を証明し、Gmailによるブロックを防ぐことが出来ます。

② DMARCポリシーの導入

DMARC (Domain-based Message Authentication, Reporting, and Conformance) は、SPFやDKIM (DomainKeys Identified Mail) の検証結果に基づいて、メールの取り扱い方を定義する技術です。これにより、なりすましメールを効果的に防ぐことが可能になります。

取って技術的な内容を記載しましたが、皆さんが当たり前に行っているメール送受信の仕組みは、DMやスパム、迷惑メールによるセキュリティ強化に伴い想像以上に複雑化しています。IT知識に疎いホームページ業者様では、これらのセキュリティ対策を適切に設定することが困難な場合があります。

Gmailのセキュリティ強化は、一時的な混乱をもたらしますが、長期的にはメールを通じたコミュニケーションの安全性と信頼性を高める良い機会となります。

適切な対策を講じ、変更迅速に対応することで、ビジネスの継続性と顧客との良好な関係を保つことができますので、必ず取引業者様に「自社のGmail対策は大丈夫?」と問いかけてください。



もし、お取引の業者様で対応が難しい場合は、コムデック ITサポート部までご連絡ください!

※5,000件以上のメールを送信している企業様は更に厳しい基準でのセキュリティ対策が必須となります。

元税理士事務所職員が体験した バックオフィスシリーズ No.7



第7回 | 入社処理で大活躍! 人事情報の管理 SmartHR

コムデックの経理担当: 西野さんは、元税理士事務所職員です。

約10年間、他社や、税理士事務所でも働いた経験のある西野さんからみた、コムデックのデジタル化されたバックオフィス業務の中から、西野さん目線で見たとおススメのバックオフィスの業務改善を、「元税理士事務所職員が体験したバックオフィスシリーズ」としてお送りしています。

3月~4月は入社・異動により人事関係の事務手続きが増える時期です。日常的な手続きではないため「必要な情報はどこだ?どこに何を提出するんだ?保管先はどこだ?」とマニュアルを探す...過去資料を見る...記憶をたどる...という時間が発生していませんか? (過去の私です笑)

そして従業員さんに複数枚の書類への記入・押印を依頼して提出を急かしていませんか? (こちらも過去の私です笑)

現在の私は【SmartHR】を利用して書類を漁ることも、従業員さんに圧をかけることもなく、スマートに業務をこなしております。

SmartHRでは会社が事前に従業員から収集する情報を決定しフォーマットを作成、従業員本人が必要情報を入力、クラウドに保管されます。行政手続き必要情報も社内保管したい情報もフォーマットに組み込めば、まとめて取得・管理できます。取得した情報をもとに行政申請書類を作成し電子申請できます。

外部サービスに連携できるのでコムデックではKING of TIMEとMoney Forwardクラウド給与(Money Forwardクラウド社会保険)に連携し利用しています。

SmartHR 入社手続き



管理者の操作



従業員の操作

1. 従業員情報を登録する
2. 書類を配布する
3. 従業員をSmartHRに招待する
4. 従業員情報を提出する
初期設定
書類の確認・合意
従業員情報の登録・提出
5. 行政手続きの書類を作成する
6. 電子申請を依頼・発行する



オプションにはなりますが、文書配布機能を契約している場合は、雇用契約書などの配布と契約の締結も可能、契約書のテンプレも作成できます。樋口会長激推し機能です!

人事・労務業務の効率化を考えている企業様、人事データの管理方法に悩まれているご担当者様、【SmartHR】の利用を検討してみてください。

